

Stand UP!

2015年10月28日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 11 編集責任者 情 宣 部

**会社は私たちに苦勞ばかりを押し付けるのではなく
努力した成果として満額回答で示せ!!**

第3回交渉（私たちの要求の根拠）

中央本部は10月28日に本社で『2015年末手当第3回交渉』を行いました。

私たちの主張

- ・要員が逼迫している中で、これまでとは比べ物にならないほど業務を遂行している。若年退職が止まらない現実を直視して将来展望を明らかにするために年末手当で応えるべきだ！
- ・運輸収入は対前年からすれば大幅な増収！支払い能力は充分にあり、努力に対する還元をするべきだ！
- ・鉄事の黒字を目指すのならこれまで以上の努力が必要となる。モチベーションの向上のためにも成果の還元を！

＜青年部から＞

2013年から青年部員の退職が増え続けている、職場では我慢我慢我慢して必死に利益を出してきたのになぜ還元しないのか。職場を活性化させるためにフィードバックミーティングをする会社は職場と感覚が違い過ぎる！

要員不足の中で厳しい業務をやってきた！

対前年からの増収は俺たちの苦勞の結晶だ!!

会社は支払い能力はある！全員で満額とりにいこう!!